



2025 年 8 月 27 日

各 位

会 社 名 A e r o E d g e 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 兼 執行役員 CEO 森西 淳
(コード番号：7409 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 兼 執行役員 CFO 今西 貴士
(TEL 0284-22-3125)

チタンアルミブレード新材料量産及びマーケットシェア拡大に伴う 設備投資（固定資産の取得）のお知らせ

当社は、2025 年 8 月 27 日開催の取締役会において、LEAP エンジン用チタンアルミブレードの新材料量産、並びにマーケットシェア拡大に向けて、設備投資を実施することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 設備投資の理由

当社は、商業用航空機として世界で最も受注残がある仏 Airbus 社製 A320neo ファミリー及び米 Boeing 社製 737MAX シリーズ用の航空機エンジン「LEAP」に搭載されるチタンアルミブレードを量産加工し、仏 SAFRAN 社に販売しております。

当社は、現在、仏 SAFRAN 社から無償支給されたチタンアルミブレードの材料であるチタンアルミ合金を、チタンアルミブレードに加工し、仏 SAFRAN 社に納入しております。一方、当該材料は航空機需要が拡大する中で、欧州企業 1 社のみに生産を依存していることから、供給リスクを抱えておりました。このような状況を踏まえ、当社では当該リスクへの対応策として、材料供給から加工までを担う垂直統合体制の構築と、収益拡大を目指し、数年にわたり新材料の開発に取り組んでまいりました。その結果、新材料の量産化への目途が立ち、2025 年 8 月 14 日付「LEAP エンジン向けチタンアルミブレード用新材料の供給並びにマーケットシェア拡大のお知らせ」にて開示した通り、仏 SAFRAN 社と、新材料の供給、並びにマーケットシェア（LEAP エンジンの生産に必要なチタンアルミブレードの供給シェア）の拡大に関する契約を締結することを決議いたしました。

それに伴い、新材料供給に向けた量産体制を整えるとともに、マーケットシェア拡大に向けて、加工能力の増強を図るため、設備投資を行うことを決定いたしました。

2. 設備投資の概要

(1) 新材料用設備投資

栃木県足利市で新たに取得した土地に、量産工場やラボ(※1)建屋を建設し、各種設備等を導入予定です。

① 設 備 概 要	土地、鋳造工場建屋、鋳造ラボ建屋、鋳造設備、鋳造ラボ検査装置等 (※ 1)
② 生 産 品 目	LEAP エンジン用チタンアルミブレード (新材料)
③ 場 所	栃木県足利市奥戸町 1215
④ 面 積	7,640 m ² (土地面積)
⑤ 投 資 予 定 額	2,575 百万円
⑥ 投 資 開 始 時 期	2025 年 8 月
⑦ 投資完了時期 (予定)	2027 年 4 月予定
⑧ 取 得 資 金	自己資金及び借入金 (※ 3)

(2) 加工用設備投資

本社工場内に各種加工設備、検査装置等を追加導入する予定です。

① 設 備 概 要	加工設備（マシニングセンター、研削盤等）、検査装置（非破壊検査用装置、三次元測定機等）等（※2）
② 生 産 品 目	LEAP エンジン用チタンアルミブレード（加工）
③ 場 所	栃木県足利市寺岡町 482-6（本社工場内）
④ 投 資 予 定 額	2,446 百万円
⑤ 投 資 開 始 時 期	2025 年 8 月
⑥ 投資完了時期（予定）	2027 年 6 月予定
⑦ 取 得 資 金	自己資金及び借入金（※3）

※1 生産した新材料(鋳造品)の検査・分析を行ない品質保証する試験施設となります。

※2 設備毎に購入相手先は異なりますが、国内外の一般事業法人からの購入を予定しております。当該相手先の概要につきましては、相手先との守秘義務により公表を控えさせていただきます。なお、一部設備の購入予定先は当社の関連当事者（当社の主要株主の子会社）に該当いたしますが、取得価額等については公正な手続を経て決定しており、その他の設備の購入予定先とは、記載すべき資本関係、人的関係はありません。

※3 設備投資額の一部は、2024 年 7 月 19 日付「経済産業省による「航空機用鋳造品（チタン合金（チタンアルミ）」供給確保計画の認定及び助成額に関するお知らせ」にて開示した、経済安全保障促進法に基づく特定重要物資として助成金の対象となる予定です。

3. 今後の見通し

本件が 2026 年 6 月期の業績に与える影響につきましては、2025 年 8 月 14 日に発表いたしました業績予想に織り込んでおります。

以 上